

KUTANI REDS

特別展

九谷赤絵 の極致

宮本屋窯と
飯田屋八郎右衛門の世界

The Finest of Kutani Reds, The exquisite world of
Miyamotoya Kiln and master painter, Iidaya Hachirōemon

宮本屋窯
《卯亥双丑図円筒形水注》(部分)
江戸時代後期(19世紀) 個人蔵

2025.10.11 Sat - 12.14 Sun

模様は吉祥の形。
繊細な筆で
うつわを
埋め尽くす。

宮本屋窯《雲龍図木瓜形蓋置》(部分) 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵

休館日 | 毎週月曜日 ※10月13日・11月3日・11月24日(月・祝)は開館、翌日振替休館
開館時間 | 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
入場料 | 一般900円(720円)、大学生720円(570円)、高校生以下無料
※()内は20人以上の団体料金

主催後援 | 主催: 滋賀県立陶芸の森、九谷赤絵全国巡回展開催実行委員会
協力: 京セラ株式会社
後援: 滋賀県教育委員会、NHK大津放送局、甲賀市、京都新聞

 滋賀県立 陶芸の森 陶芸館

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
TEL: 0748-83-0909 FAX: 0748-83-1193 Web: <http://www.sccp.jp>

背景作品: 宮本屋窯《捻花環珞文南山玄霧図独楽形鉢》江戸時代後期(19世紀) 個人蔵

宮本屋窯《南柯之夢図六稜形鉢》(部分) 江戸時代後期(19世紀) 個人蔵

KUTANI REDS

特別展

九谷赤絵 の極致

宮本屋窯と
飯田屋八郎右衛門の世界
The Finest of Kutani Red, The exquisite world of
Miyamotoya Kila and master painter, Iidaya Hachirōemon

2025.10.11 Sat - 12.14 Sun

繊細な筆でうつわを埋め尽くす。

九谷焼における赤絵細描技法は江戸時代前期の古九谷に端を発し、江戸時代後期に現在の石川県加賀市で開窯した再興九谷のひとつ、宮本屋窯(1832-59)において大成しました。

その赤絵細描技法を作品全面に用いることで、「九谷赤絵といえば宮本屋窯」という不動の地位を築きました。明治期に「ジャパニクタニ」として世界に名を馳せた輸出九谷の誕生や発展につながります。さらに九谷赤絵の技術は、飛騨の浅草焼(岐阜県)、越前の三国焼(福井県)、ここ近江の湖東焼(滋賀県)にも影響を与えています。

宮本屋窯の赤絵は、黒味がかった赤で文様を細部にわたり描き込んだ「赤絵細描」と、金彩とともに「赤以外の上絵釉」を用いています。また、画題には、中国明時代の墨の文様集『方氏墨譜』から着想を得たことにより、他の窯にはない独自性を発揮しました。とりわけ、宮本屋窯の主画工・飯田屋八郎右衛門(1801-1848)は、赤絵細描に優れた手腕を発揮させました。

本展では、宮本屋窯の細密描写に挑んだ絵付職人らの高い技術により多彩な装飾文様で埋めつくされた華やかな「九谷赤絵」の優品の数々を一堂に展示します。

模様は吉祥の形。

可愛い豆皿に描きます

圧巻の本物の技

完成まで多くの時間を要するため現存数が極めて少ない!

関連行事

■ しがらき学ノススメ! 体験講座

「赤絵で吉祥豆皿に絵付けをしよう」

[事前申込]

日時: 2025年11月22日(土) 10時~12時
講師: 福島武山氏(九谷焼伝統工芸士)
定員: 20名
参加料: 5,000円
応募締切: 10月28日(火)
申込み: shigarakigaku@sccp.jp

■ 福島武山氏(九谷焼伝統工芸士)による絵付け実演見学

[先着順]

日時: 2025年11月22日(土)
①13時30分~②14時
定員: 各回とも15名程度
場所: 陶芸館ロビー
参加料: 無料

■ ギャラリートーク

[申込不要・入場券要]

日時: 2025年10月25日(土)、
11月9日(日)、12月7日(日)
※各日程とも13時30分から(40分程度)

背景作品: 宮本屋窯「捻花環珞文南山玄霧図独楽形鉢」
江戸時代後期(19世紀) 個人蔵

①宮本屋窯「焼煙閣図筆筒」江戸時代後期(19世紀) 個人蔵 ②宮本屋窯「雲龍図木瓜形蓋置」(部分)江戸時代後期(19世紀) 個人蔵 ③湖東焼 幸富絵付け「花卉図三段重」嘉永5(1852)年頃 個人蔵 ④宮本屋窯「卯亥双丑図円筒形水注」江戸時代後期(19世紀) 個人蔵 ⑤宮本屋窯「捻花環珞文南山玄霧図独楽形鉢」(部分)江戸時代後期(19世紀) 個人蔵 ⑥宮本屋窯「革図水注」江戸時代後期(19世紀) 個人蔵 ⑦湖東焼 賢友絵付け「唐人物図漢詩入皿二十客」江戸時代後期(19世紀) 滋賀県立陶芸の森陶芸館蔵

同時開催 [入場無料]

陶芸館ギャラリー

京都市立芸術大学との連携企画展
「再現実験からみるワグネルと旭焼」

会期: 2025年10月11日(土)~12月14日(日)

ここでもみられる「陶芸の森 コレクション展」

シリーズ・近江のやきものⅡ

「湖東焼・湖南焼 華麗なる赤絵の世界」

会期: 2025年10月25日(土)~2026年1月11日(日)
場所: 甲賀市土山歴史民俗資料館
観覧料: 無料



滋賀県立 陶芸の森 陶芸館

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町助旨2188-7
TEL: 0748-83-0909 FAX: 0748-83-1193
Web: <https://www.sccp.jp>

陶芸の森へのアクセス

[公共交通機関] ●「JR草津駅」より草津線乗り換え「貴生川駅」下車、信楽高原鉄道乗り換え「信楽駅」下車、徒歩20分(約75分) ● 信楽高原鉄道「信楽駅」より甲賀市コミュニティバス「陶芸の森前」または「陶芸の森(陶芸館前)」下車(約5分) [自動車] ● 新名神高速道路 信楽インターから約8分 ● 駐車場(無料) 普通車約250台 大型バス約10台

▶ 次回展覧会

特別展

「20世紀北欧デザインの巨匠
スティグ・リンドベリ展」

会期: 2026年3月20日(金・祝)
~5月10日(日)

★ハッシュタグは

#九谷赤絵の極致展

陶芸の森の
Instagram・HPは
こちらから!



@

HP

